

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272500927		
法人名	社会福祉法人 十和田湖会		
事業所名	グループホーム らっこ		
所在地 (電話番号)	〒034-0301 青森県十和田市奥瀬字下川目2-1 (電話) 0176-72-3122		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 7月 7日	評価確定日	平成 19年 8月 30日

## 【情報提供票より】(平成 19年 6月 20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 11月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 7 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	4,000 ~ 冬季7,000 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり		800 円		

### (4) 利用者の概要( 6月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.7 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	十和田第一病院
---------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>屋外の環境は緑があふれ果樹園や畑などあり生き生きとした生活が窺える。ホーム内は騒音が無く静かな環境で、天井も高く日の光を十分に採り入れており風通しもよく明るい雰囲気である。装飾類も飾りすぎずさりげない演出である。ゆったりとしたつろぎスペースがあり、居室もゆとりがあり明るい環境である。また利用者それぞれ役割を持ちながら過ごしており、それぞれの生活のペースに合わせた環境作りが行なえている。理念の「笑顔で接すること 希望をかなえてあげること」を職員全員が理解しており、それに向けて取り組んでいる。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で指摘された点については職員ときちんと話し合いを持ち、共有が行えている。改善できなかった点についても前向きな姿勢がみられている。情報開示の点では家族にも報告し、玄関先にも見やすく掲示するなどしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で評価を出すことにより、日ごろのサービスについて振り返り、改めて出来ている点や改善点を見出すことが出来た。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>民生委員や在宅介護支援センター職員、地域住民、利用者家族らとホーム内にて話し合いの場を設け、各方面からの意見・要望、苦情などを真摯に受け止め、それに対する回答もきちんとされている。また感染症に関する情報を提供するなど勉強会としての役割も果たしている。発信するだけでなく意見交換の場としても活用している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>日ごろから、職員は家族の様に接することをモットーにしており利用者本人やその家族と苦情や意見を気兼ねなく言える様な関係性を築いている。又、運営推進会議でも積極的に意見・苦情を出してもらいすぐに対応できる体制が整っている。また別の情報収集の方法として苦情箱も設置している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>グループホーム独自の広報誌を作るなど地域への発信を行い、村祭りなどにも参加したり地域のイベントにも見学に行っている。又、併設されている特別養護老人ホームとの連携で夏祭りを行ったり、ボランティア活動などを受け入れている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔で接すること 希望を叶えてあげること」を理念とし、それをかなえられる様に努力しているが地域密着サービスとしての内容が取り込まれていない。		地域との交流に関する項目等も取り入れ、地域密着型サービスの役割を理念へ取り込んでいくことに期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝のミーティング時に職員で唱和し意識付けを行っており理念を共有化できている。また、会議での議題にもあがり話し合いがもたれている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	村祭りの見学や広報誌を近隣の施設に配る等、地域との付き合いはある。建物が道路より奥にある為地域の方と自然にふれあう機会が少なく、日常的な交流が少ない。		事業所の環境に応じて日常的な交流を自然に行なっていける様に、地域住民にホームを認知していただけるような取り組みに期待したい。また、地域行事やボランティア受け入れに関しては積極的な活動を期待したい。

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員はしっかりと評価の意義を話し合い理解しており改善へ向けての前向きな姿勢がみられている。家族へも周知しており、又玄関にも掲示されており誰でも閲覧できるようにしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で要望や意見を積極的に取り入れており、情報提供だけでなく情報交換の場としても活用している。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	広報誌を年2回、市に配布するなどの活動はあるがそれ以外は連携が乏しい。		日々の運営に関する課題解決を図っていく上でも運営推進会議への参加、協力を得られるよう積極的な働きかけを期待したい。
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者が制度について職員にパンフレットを使いきちんと説明をして理解している。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法に関しては職員会議でよく話し合いをしており、日々のケアのなかで具体的な指導を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な話し合いを持ち行っている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	最低でも月に一度の電話連絡をしており利用者の暮らしぶりや健康状態は把握している。広報も作成し配布している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの苦情や要望は、主に直接職員に話せるような働きかけを行っており、また運営推進会議でも直接意見を述べる場を作っている。苦情箱の設置もしている。現在のところ苦情はあまり無いが要望には回答している。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は極力少なくするように配慮されている。異動した際は利用者に紹介するなどして動揺を少なくするようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外の研修会は近年行っていない。法人内の研修会やグループホーム内の研修会を担当をきちんと決めて行っている。今後は法人外の研修会も含め積極的な参加を検討している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内では交流は行っているが、同業者の交流は行っていない。		同業者との意見交換や交換研修会などは、より良いサービスの向上のための手段のひとつと考えられるため、具体的な取り組みを期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	きちんと事前訪問をして確認し必要に応じて対応している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	それぞれの生活のステージの中で知識や知恵を利用者から教えてもらいながらお互い喜びを分かち合い同じ時間のなかで過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>突然の外出や、畑の野菜が採れたときの食事メニューの変更等、一人ひとりの意向に答えている。また、それに近づけるように努力している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>4ヶ月に一度の定期的なカンファレンスを全職員で行っている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスの他に状態に変化があったとき等に都度見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>シフト変更により急な状況に対応できるようにしている。どうしても足りないときは法人内から援助して対応している。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院は本人の希望にあわせて受診している。どうしても行けない夜間や急なときは、家族に確認をとった上で違う病院を受診する場合もあることを契約時に確認している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員、家族が重度化や終末期に向けて話し合っている。職員同士でも情報を共有し同じ対応が出来るようにしている。急変時マニュアルもあり、応援体制も整えてある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報や記録管理はプライバシーの保護に重点をおいており徹底している。日々のケアは都度職員間で確認しあい、管理者が指導も行なっている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のペースを守り、尊重し接している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その方の能力に合わせてテーブル拭きや食事準備など役割分担があり、利用者の方も楽しんでいることが窺える。食事メニューに関しても嗜好調査をきちんとしており、畑で栽培したものも料理に取り入れるなど季節感がある。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>現在、利用者の入浴日は聞き取りも行なっているが、希望がない為月・火・木・金の午後となっている。希望があった場合は利用者の意向を尊重して入浴できるような体制は整えている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>モップがけ、茶碗洗い、おしぼり干しなど状態にあわせた役割がきちんとあり、出来ない人には出来ることをフォローしながら行なっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>外食会や散歩などを取り入れており、その日の急な希望にも応えられるような支援をしている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束に関する教育は日常業務の中で指導している。また日ごろから聞きやすい関係を築いている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は弊害を理解しており、鍵をかけないケアを実践している。玄関にベルをつけていたが、音が気になるとの意見があり現在は戸の開け閉めの音で聞き分けるようにしている。利用者の希望により居室も鍵をかけることなく開放している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>月に一度避難訓練を行い、消防訓練は年2回行なっている。記録には、避難訓練にかかった時間など細かく記載されており災害に対する意識を持っている。</p>		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量の確認は一緒に食べている職員が確認し、夜勤者にも引き継げるようにしている。食事チェック表にも記載している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>普段から消毒は徹底して励行している。流行に関しても運営推進会議の場や家族へ連絡し、園内に持ち込まないように未然に防いでいる。また、流行に関して張り紙を見えやすい所に掲示してお知らせしている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>騒音が無く静かな環境のなかで、入居者がそれぞれの役割を持ちながら居心地よく過ごされている。天井が高く日の光を十分に採り入れており、風通しもよく明るい雰囲気である。装飾類も飾りすぎずさりげない演出である。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者、家族に馴染みの物を持って来ていただいてもよいことを説明している。寝具類や枕は本人の馴染みの物を使い安心して過ごせている。</p>		

 は、重点項目。